

平成30年度

決算審査講評に対する対応調書

佐久広域連合

## 平成30年度決算審査講評に対する対応調書

No.	講評要旨	措置状況(関係課の対応)	関係課
①	FMラジオを媒体とした観光振興事業は、その効果の検証に併せ、フェイスブックやインスタグラムなどのSNSを活用し、時流に即応した手法を加え情報発信に努められていた。中部横断道が八千穂高原ICまで開通し、佐久地域への来訪者増加の期待も高いことから、今後も創意工夫を重ね魅力発信に努められたい。	・観光振興事業については、今後もSNSの活用などによる情報発信に努めるとともに、佐久地域の魅力を積極的に発信することにより、本地域への来訪者の増加を図ってまいります。	<事務局> 事務局庶務課
②	介護認定・障害者支援区分認定については、審査件数が多い中、公平・公正はもとより、迅速な審査認定に配慮されていたことから、今後も制度利用者の生活に支障のないよう図られたい。	・介護認定審査会及び障害支援区分認定審査会の実施にあつては、今後も関係市町村との連携を密にし、迅速で公平かつ公正な審査会を運営するよう努めてまいります。	<事務局> 事務局福祉課
③	成年後見・障害者相談支援センター事業については、引き続き市町村と連携を図り制度の周知と活用に努められたい。	・成年後見支援センター事業については、成年後見制度を必要とする方にとってメリットが感じられ、普遍的に定着するものとなるよう、業務委託先の佐久市社会福祉協議会と連携し、より身近に感じることができる研修会の開催等を継続し、制度の普及啓発に努めてまいります。  ・障害者相談支援センター事業については、佐久圏域障害者自立支援協議会などを通じ、引き続き市町村と連携を緊密に図り、障がい福祉の各制度が障がいのある方の支援に有機的に繋がるよう、努めてまいります。	<事務局> 成年後見支援センター  障害者相談支援センター
④	日頃の訓練・研修が有事の活動に活かされ、災害の軽減にも繋がることから、安全管理に十分配慮し、今後も地道な訓練を積み重ね地域住民の安心安全に万全を期していただきたい。	・訓練につきましては、本部主導及び各署において計画的に各種訓練を立案し、職員の安全管理を念頭に置きながら、多種多様化する災害に対応すべく実施してまいります。	<消 防> 消防本部・各消防署
⑤	近年は、火災や救急、自然災害も多様化しており、これに対応した装備も必要であるが、財源にも限りがあることを踏まえ、装備品については、更新計画の必要な見直しを行うとともに、現有装備品の有効活用を図られたい。	・多種多様化する災害や救急に対応するべく、必要に応じた車両の更新を計画してまいります。財源にも限りがあるため、更新車両に対して入念に検討し、しっかりとした更新計画を立ててまいります。	<消 防> 消防本部・各消防署
⑥	いずれの施設も入所者の重度化並びに高齢化の進行と職員確保の困難など施設運営は厳しい状況にあるが、待遇に留意し入所者が安らかに過ごせるよう職務に精励いただきたい。	・介護サービスの基本に戻り、入所者、家族の意見要望を受け止め、介護支援計画並びに栄養ケア計画に反映させることにより、引続き入所者が尊厳を保持し、心豊かに安心、安全に過ごせるよう職員間連携により職務に精励してまいります。  ・入所者の重度化並びに高齢化に対しては、引き続き福祉事務所と連携を図り、適切な施設への施設替えを進めてまいります。職場内研修等を通じて職員の接遇力の向上を図り、入所者が安らかに過ごせるよう努めてまいります。	<施 設> 特別養護老人ホーム豊昇園 特別養護老人ホーム塩名田苑  救護施設清和寮

## 平成30年度決算審査講評に対する対応調書

No.	講評要旨	措置状況(関係課の対応)	関係課
⑦	<p>昨年度を上回る荷受頭数となったが、豚コレラの発生により、今後荷受頭数の減少が懸念されることから、引き続き畜産関係者の理解と協力を得ながら、荷受頭数の確保に向け努められたい。</p>	<p>・岐阜県、愛知県で発生が続いている豚コレラが周辺の県にも拡がり始め、県内でも野生イノシシの陽性確認が続き、養豚農家への感染リスクが高まっていることから、防疫対策として、出入りする全車両の消毒及び施設内外の消毒を徹底し、県内外の畜産関係者に安全性をアピールしていくことにより、荷受頭数の確保に努めてまいります。</p>	<p>&lt;食肉流通センター&gt; 食肉流通センター</p>